TPS1000で作成した決算書(財務諸表)を e-TAXグループ通算で電子申告する手順 【第1版】

令和4年3月1日

TKCシステム開発研究所

一 目次 一

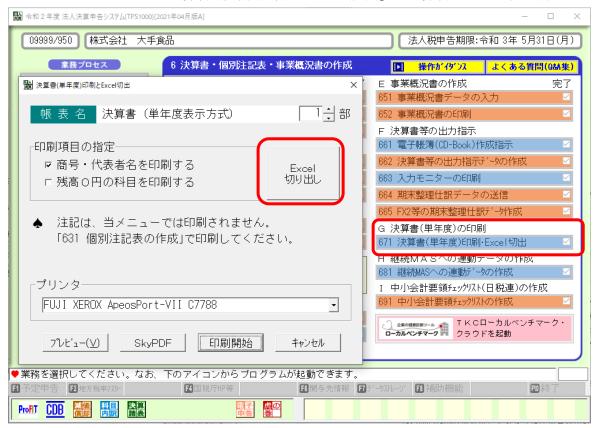
I	貨	貸借対照表のCSV作成	. 1
	1.	TPS1000 で Excel 切り出し	. 1
	2.	空欄の勘定科目の確認	. 1
	3.	セル結合の解除	. 2
	4.	勘定科目の転記	. 4
	5.	マイナス金額の設定	. 5
	6.	たな卸資産の内訳の転記	6
	7.	CSVファイルの作成	. 8
Π	挂	員益計算書のCSV作成	9
	1.	TPS1000 で Excel 切り出し	9
	2.	空欄の勘定科目の確認	9
	3.	セル結合の解除	10
	4.	勘定科目の転記	12
	5.	マイナス金額の設定	12
	6.	金額の転記	13
	7.	販売費及び一般管理費の内訳の転記	14
	8.	CSVファイルの作成	17
Ш	集	製造原価報告書のCSV作成	18
	1.	TPS1000 で Excel 切り出し	18
	2.	空欄の勘定科目の確認	18
	3.	セル結合の解除	19
	4.	勘定科目の転記	21
	5.	CSVファイルの作成	22
IV	杉	朱主(社員)資本等変動計算書のCSV作成	23
	1.	TPS1000 で Excel 切り出し	23
	2.	セル結合の解除	24
	3.	その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書の転記	25
	4.	転記後の「その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書」の削除	28
	5.	CSVファイルの作成	29
V	個	固別注記表のテキスト作成	30
	1.	TPS1000 でテキスト切り出し	30
VI	. 6	e -TAXグループ通算での処理:読み込みレイアウトの指定	31
	1.	財務諸表の読み込みレイアウトの指定	31
	2.	貸借対照表の読み込みレイアウトの指定	31
	3.	損益計算書の読み込みレイアウトの指定	35
	4.	製造原価報告書の読み込みレイアウトの指定	39
	5.	株主(社員)資本等変動計算書の読み込みレイアウトの指定	43

VII	e - T A X グループ通算での処理:読み込み	46
1	1. 財務諸表の読込	46
2	2. その他の申告書添付書類の作成	48

I 貸借対照表のCSV作成

1. TPS1000でExcel切り出し

TPS1000 のメニュー「671. 決算書(単年度)印刷・Excel 切出」で決算書を Excel 切り出しします。



2. 空欄の勘定科目の確認

- (1) 「Sheet2」シートが貸借対照表です。
- (2) 空欄の勘定科目は、e-TAXグループ通算で読み込めません。

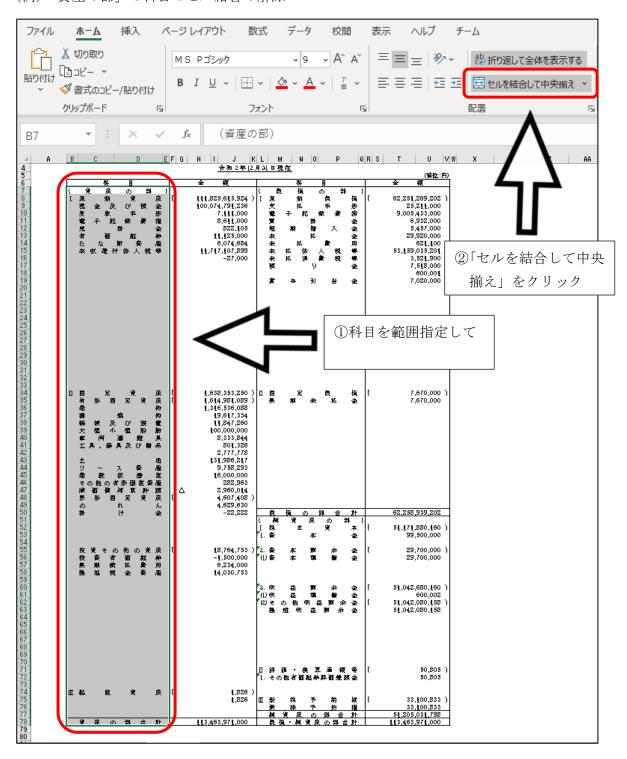
そのため、勘定科目名が空欄で金額のみある勘定科目名については、適切な勘定科目名を設定してください。

(ご参考) 国税 e-Tax ソフト仕様では、勘定科目名が空欄の場合、電子申告できません。

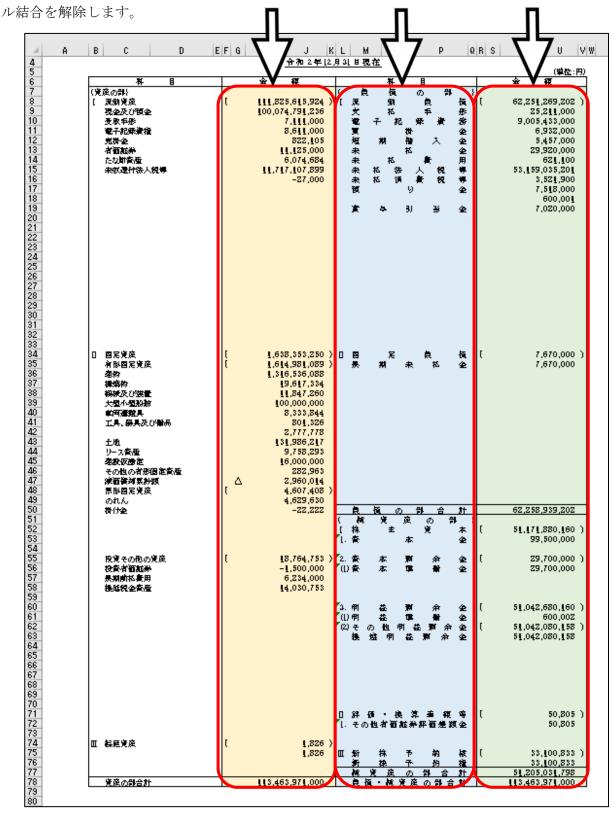


3. セル結合の解除

- (1) 編集作業を簡易に行えるよう、結合されているセル結合を解除します。 セル結合を解除する具体的な項目は、下記のとおりです。
 - ①「資産の部」の科目
 - ②「資産の部」の金額
 - ③「負債の部」「純資産の部」の科目
 - ④「負債の部」「純資産の部」の金額
 - (例)「資産の部」の科目のセル結合の解除



同様に、資産の部」の金額、「負債の部」「純資産の部」の科目・金額について、範囲指定してセ

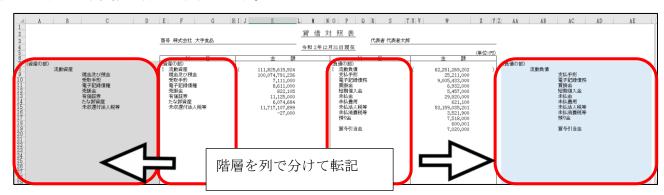


4. 勘定科目の転記

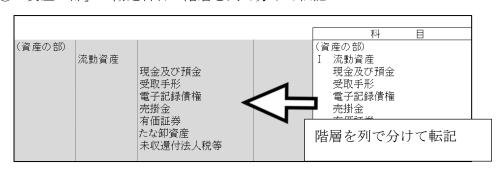
e-TAXグループ通算に勘定科目を読み込めるよう、勘定科目を転記します。

(1) 勘定科目の階層を設定する場合

貸借対照表の左右に列を挿入し、そこに勘定科目の階層を列に分け(例:1階層目をA列、2階層目をB例・・)、勘定科目を転記します。



- ①貸借対照表の左側に列を挿入(5~6列)
- ②「資産の部」の勘定科目の階層を列で分けて転記



- ③同様に、「負債の部」「純資産の部」の勘定科目の階層を列で分けて転記
- (※) e-TAXグループ通算で読み込む際、勘定科目を国税庁指定の e-Tax 科目に対応付け(紐付け)します。勘定科目に階層があるとより簡易に対応付け(紐付け)できます。

(2) 勘定科目の階層を設定しない場合

項番の記載を削除します。

下記、赤枠の箇所に記載されている項番 (例: I など) を削除します。

$\overline{}$	科 月		金 額		科 目	_	金 額	(手)至(1-7)
728	科 目 (産の部)	1	並 智		<u>料 日</u> (負債の部)		亚 額	
	生(のPP) 流動資産 現立を発育金 受取予記 電子記録情権 売掛金 有価証券 たな卸資産 未収遺付法人税等	100,00	25,615,924 74,791,236 7,111,000 8,611,000 822,105 11,125,000 6,074,684 7,107,899 -27,000		国 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(62,251,269,202 25,211,000 9,005,433,000 6,932,000 5,457,000 29,920,000 621,100 53,159,035,201 7,518,000 600,001 7,020,000)
п	固定資産 有形固定資産 建物 構築物 機械及び装置 大型小型船舶 工具、器具及び備品 土地	(1,6 1,3 1,3	38,353,250 14,981,089 6,536,088 19,617,334 1,347,260 00,000,000 8,333,844 801,326 2,777,778 31,986,217	3	Ⅲ 固定負債 長期未払金	(7,670,000 000,073,7)
	リース資産 建設仮勘定 その他の有形固定資産 減価償却累計額 無形固定資産 のれん 掛け金		9,758,293 16,000,000 282,963 2,960,014 4,607,408 4,629,630 -22,222	Г	負債の部合計 (純資産の部) I 株主資本 1. 資本金	(62,258,939,202 51,171,880,160 99,500,000)
	投資その他の資産 投資有価証券 長期前払費用		18,764,753 -1,500,000 6,234,000		72. 資本剰余金 (1) 資本準備金	(29,700,000 29,700,000)

5. マイナス金額の設定

(1) マイナスを示す「△」がある場合、金額の先頭に「-」(マイナス)を入力してください。

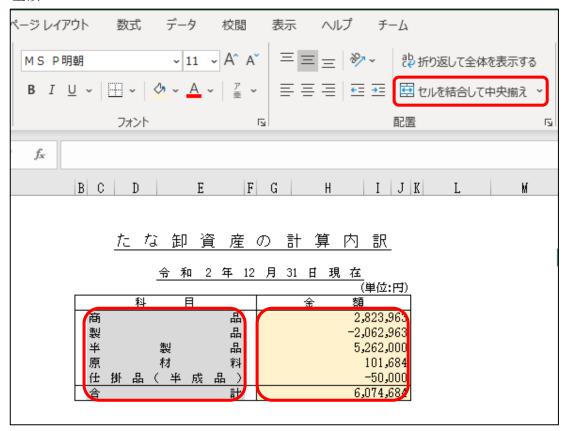
建設仮勘定	16,000,000
その他の有形固定資産	282,963
減価償却累計額	\(\triangle 2,960.014
無形固定資産	(4,607,408)
	\textstyle
建設仮勘定	16,000,000
その他の有形固定資産	282,963
減価償却累計額	\(-2.960.014
無形固定資産	(4,607,408)

6. たな卸資産の内訳の転記

- (1) たな卸資産の内訳を電子申告する場合は、以下の手順で、「たな卸資産の計算内訳」の勘定科目と 金額を貸借対照表の勘定科目「たな卸資産」の下に転記します。
 - ①「たな卸資産の計算内訳」のセル結合の解除

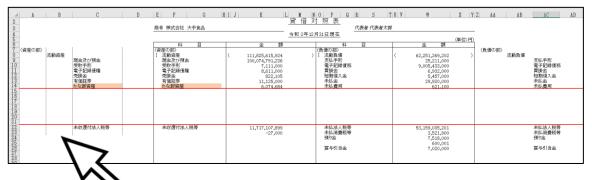
編集作業を簡易に行えるよう、「Sheet4」シートの「たな卸資産の計算内訳」について、結合されているセル結合を解除します。セル結合を解除する具体的な項目は、下記のとおりです。

- a. 勘定科目
- b. 金額



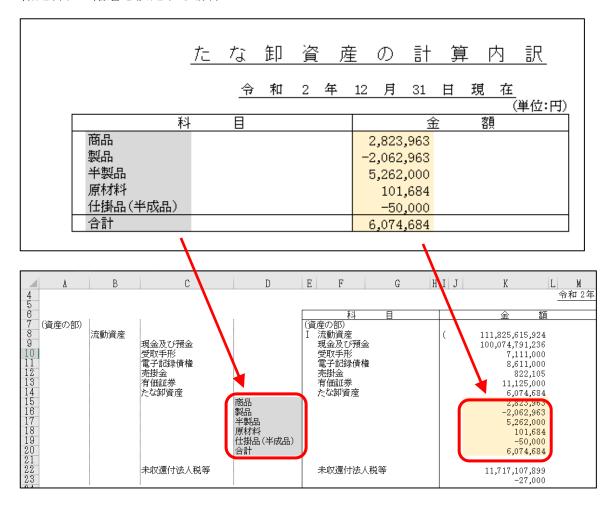
②貸借対照表へのたな卸資産の内訳の転記

1)「Sheet2」シートの貸借対照表の勘定科目「たな卸資産」の下に行挿入します。 挿入する行数は、「たな卸資産の計算内訳」の科目数です。

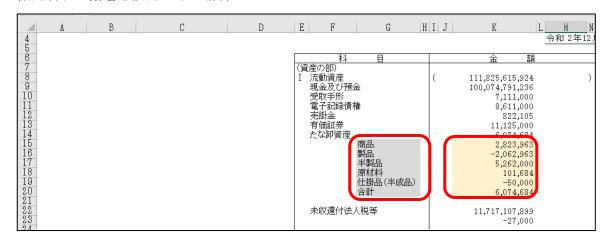


「たな卸資産」の内訳を転記するため、行挿入します。

- 2)「たな卸資産の計算内訳」(「Sheet4」シート)の勘定科目名と金額を、貸借対照表の勘定科目「たな卸資産」の下に貼り付けます(コピー&貼り付け)。
 - a. 勘定科目の階層を設定する場合



b. 勘定科目の階層を設定しない場合



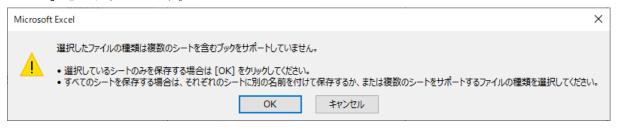
7. CSVファイルの作成

- (1) 貸借対照表の「Sheet2」シートが表示されている状態で、メニューバー[ファイル]を選択します。
- (2) 「名前を付けて保存」を選択後、判別しやすいファイル名を入力し、「CSV(コンマ区切り)(*.csv)」 を選択後、「保存」ボタンをクリックします。



(3) 下記のメッセージが表示されます。

「OK」をクリックします。

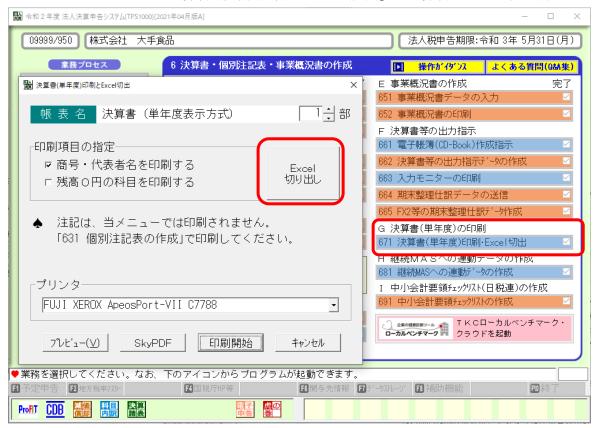


(4) CSVファイルを閉じます。

Ⅱ 損益計算書のCSV作成

1. TPS1000でExcel切り出し

TPS1000 のメニュー「671. 決算書(単年度)印刷・Excel 切出」で決算書を Excel 切り出しします。



2. 空欄の勘定科目の確認

- (1) 「Sheet3」シートが損益計算書です。
- (2) 空欄の勘定科目は、e-TAXグループ通算で読み込めません。

そのため、勘定科目名が空欄で金額のみある勘定科目名については、適切な勘定科目名を設定してください。

(ご参考) 国税 e-Tax ソフト仕様では、勘定科目名が空欄の場合、電子申告できません。

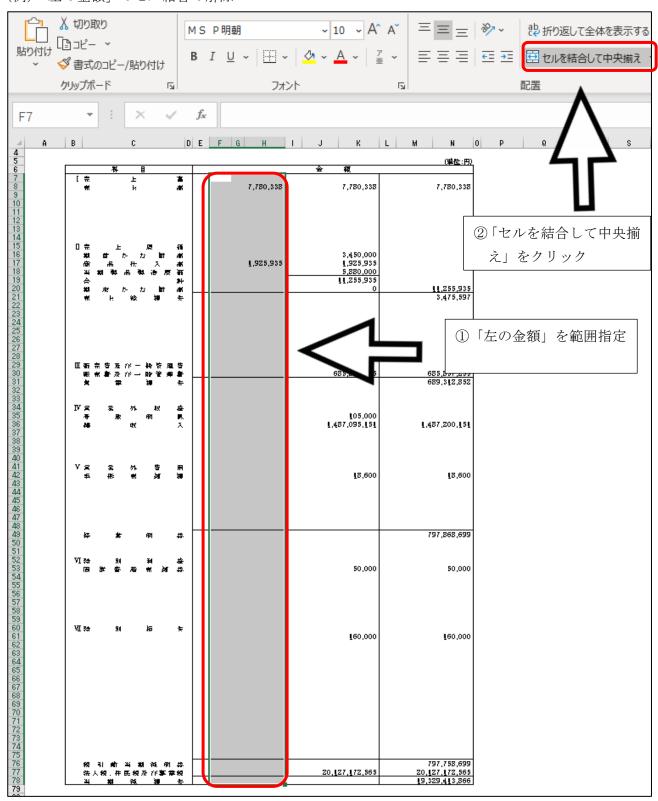
経		常	利		益		797,868,699
 VI 特 固	定	別 資 産	利 · 克	却	益益	50,	,000 50,000
₩₩		別	捐		失	160	,000 160,000

3. セル結合の解除

(1) 編集作業を簡易に行えるよう、結合されているセル結合を解除します。 セル結合を解除する具体的な項目は、下記のとおりです。

①金額

※貸借対照表と異なり、損益計算書の科目はセル結合していないため、解除の必要はありません。 (例)「左の金額」のセル結合の解除



同様に、「中の金額」、「右の金額」について、範囲指定してセル結合を解除します。

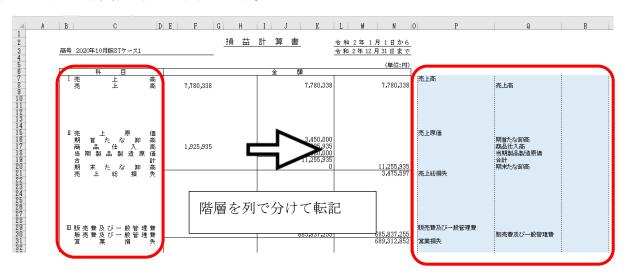
[==	科 目 上	*		* #	(単位:
**	H	*	7,780,338	7,780,338	7,780,3
日 無	上 原	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1,925,935	3,450,000 1,925,935 5,880,000 11,255,935 0	11,255,9
** **	H %2 ¥#	#-		Ĭ	3,475,5
	· 及 // 一 輪 裝 / · 及 // 一 静 管 / 章 词			685,837,255	685,837, <u>2</u> 689,3 1 2,8
	至 54 根 原 64 44	左 長 入		105,000 1,487,095,151	1,487,200,1
	20 外 普 彩 献 湖	押		1 8,600	<u>1</u> 8,61
松	* 申	#			797,868,69
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	所 进	#		50,000	50,00
भाःक	94 Ja	*		feo'000	160,0
税 引 洗人税	邮 当 郑 郑 帝	1 #		20,127,172,565	797,758,69

4. 勘定科目の転記

e-TAXグループ通算に勘定科目を読み込めるよう、勘定科目を転記します。

(1) 勘定科目の階層を設定する場合

損益計算書の右側に列を挿入し、そこに勘定科目の階層を列に分け(例:1階層目をF列、2階層目をG例・・)、勘定科目を転記します。



- ①損益計算書の右側に列を挿入(2~3列)
- ②損益計算書の勘定科目の階層を列で分けて転記
- (※) e-TAXグループ通算で読み込む際、勘定科目を国税庁指定の e-Tax 科目に対応付け(紐付け)します。勘定科目に階層があるとより簡易に対応付け(紐付け)できます。
- (2) 勘定科目の階層を設定しない場合

作業は不要です。

※ e - TAXグループ通算での読み込み時に、項番の列を読み込まないように設定します。 そのため、貸借対照表とは異なり、項番の記載の削除は不要です。

5. マイナス金額の設定

(1) マイナスを示す「△」がある場合、金額の先頭に「-」(マイナス)を入力してください。

6. 金額の転記

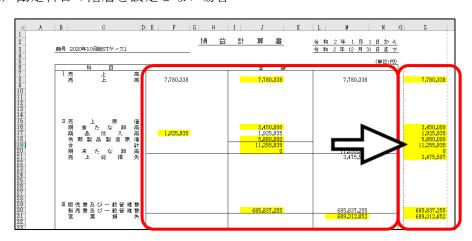
- e-TAXグループ通算に金額を読み込めるよう、勘定科目を転記します。
- e-TAXグループ通算で読み込める金額の列は2列までです。他方、TPS1000で作成する損益計算書の金額列は3列です。そのため、e-TAXグループ通算に読み込む金額を転記します。

(1) 勘定科目の階層を設定する場合



①科目ごとに読み込む金額を、1つだけ転記します。

(2) 勘定科目の階層を設定しない場合



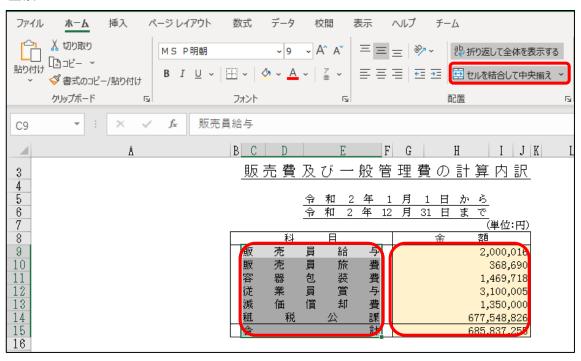
①科目ごとに読み込む金額を、1つだけ転記します。

7. 販売費及び一般管理費の内訳の転記

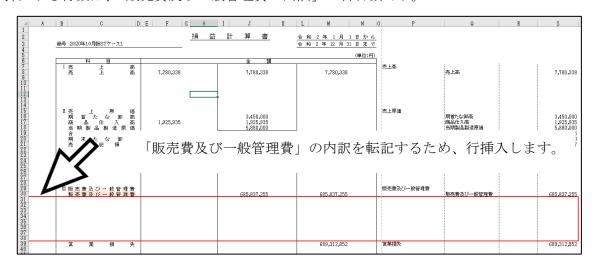
- (1) 販売費及び一般管理費を電子申告する場合は、以下の手順で、「販売費及び一般管理費の内訳」の 勘定科目と金額を損益計算書の勘定科目「販売費及び一般管理費」の下に転記します。
 - ①「販売費及び一般管理費の内訳」のセル結合の解除

編集作業を簡易に行えるよう、「Sheet4」シートの「販売費及び一般管理費の内訳」について、 結合されているセル結合を解除します。セル結合を解除する具体的な項目は、下記のとおりで す。

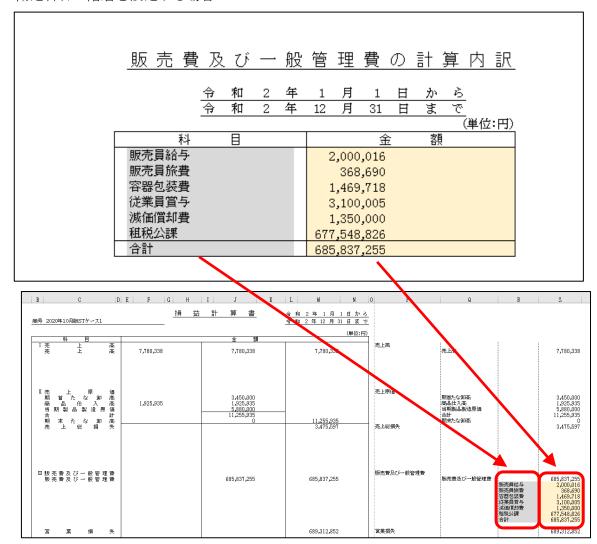
- a. 勘定科目
- b. 余額



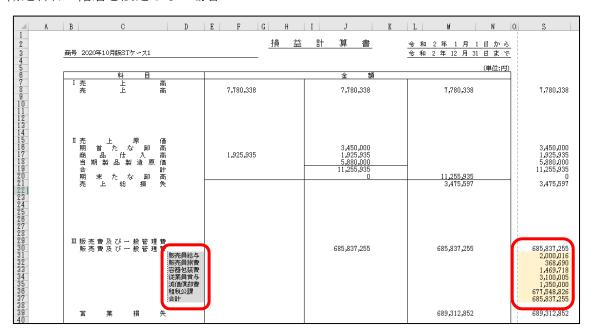
- ②貸損益計算書へ「販売費及び一般管理費」の内訳の転記
 - 1)「Sheet3」シートの損益計算書の勘定科目「販売費及び一般管理費」の下に行挿入します。 挿入する行数は、「販売費及び一般管理費の内訳」の科目数です。



- 2)「販売費及び一般管理費の内訳」(「Sheet4」シート)の勘定科目名と金額を、損益計算書の勘 定科目「販売費及び一般管理費」の下に貼り付けます(コピー&貼り付け)。
 - a. 勘定科目の階層を設定する場合



b. 勘定科目の階層を設定しない場合



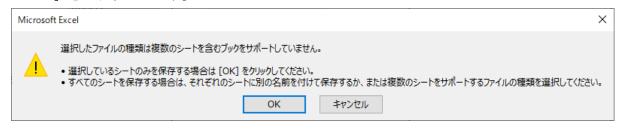
8. CSVファイルの作成

- (1) 損益計算書の「Sheet3」シートが表示されている状態で、メニューバー[ファイル]を選択します。
- (2) 「名前を付けて保存」を選択後、判別しやすいファイル名を入力し、「CSV(コンマ区切り)(*.csv)」 を選択後、「保存」ボタンをクリックします。



(3) 下記のメッセージが表示されます。

「OK」をクリックします。



(4) CSVファイルを閉じます。

Ⅲ 製造原価報告書のCSV作成

1. TPS1000でExcel切り出し

TPS1000 のメニュー「671. 決算書(単年度)印刷・Excel 切出」で決算書を Excel 切り出しします。



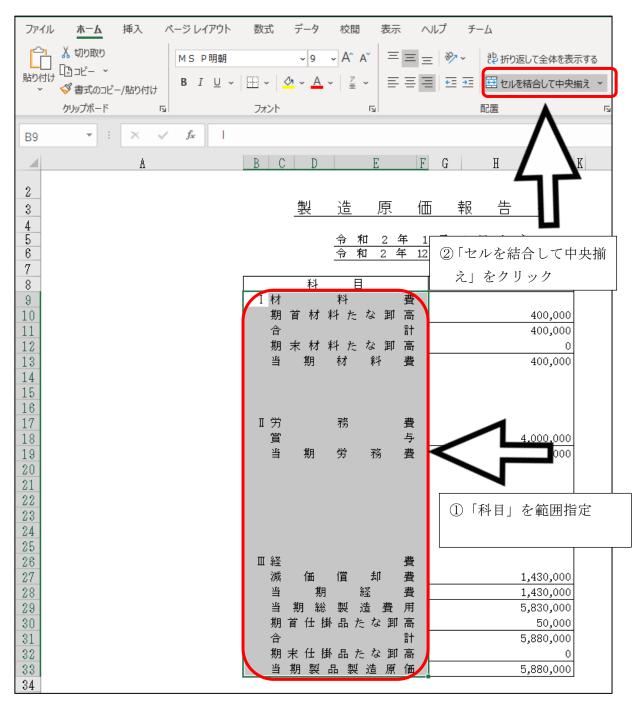
2. 空欄の勘定科目の確認

- (1) 「Sheet5」シートが製造原価報告書です。
- (2) 空欄の勘定科目は、e-TAXグループ通算で読み込めません。 そのため、勘定科目名が空欄で金額のみある勘定科目名については、適切な勘定科目名を設定してください。

(ご参考) 国税 e-Tax ソフト仕様では、勘定科目名が空欄の場合、電子申告できません。

3. セル結合の解除

- (1) 編集作業を簡易に行えるよう、結合されているセル結合を解除します。 セル結合を解除する具体的な項目は、下記のとおりです。
 - ①科目
 - ②金額
 - (例)「科目」のセル結合の解除



同様に、「科目」について、範囲指定してセル結合を解除します。

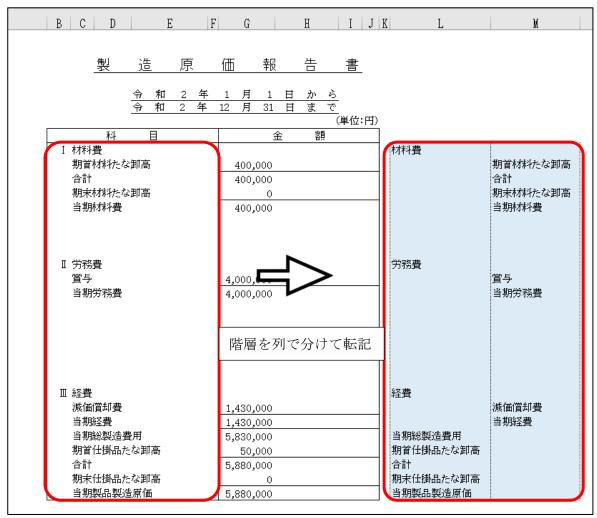
A	B C D E F G H I J K
2	
3	製造原価報告書
4	
5	<u>令 和 2 年 1 月 1 日</u> か ら 令 和 2 年 12 月 31 氏 なで
6	<u>令和2年12月31日</u> で (単位:円)
7 8	科 目 金 額
9	I 材料費
10	期首材料たな卸高 400,000
11	合計 400,000
12	期末材料たな卸高 0
13	当期材料費 400,000
14	
15	
$\frac{16}{17}$	Ⅱ 労務費
18	1 7175年 第与 4,000,000
19	当期労務費 4,000,000
20	
21	
22	
23	
24	
25	Ⅲ経費
26 27	ル 在日 滅価償却費 1,430,000
28	当期経費 1,430,000
29	当期総製造費用 5,830,000
30	期首仕掛品たな卸高 50,000
31	合計 5,880,000
32	期末仕掛品たな卸高 0
33	当期製品製造原価 5,880,000
34	

4. 勘定科目の転記

e-TAXグループ通算に勘定科目を読み込めるよう、勘定科目を転記します。

(1) 勘定科目の階層を設定する場合

製造原価報告書の右側に列を挿入し、そこに勘定科目の階層を列に分け(例:1階層目をF列、 2階層目をG例・・)、勘定科目を転記します。



- ①製造原価報告書の右側に列を挿入(2~3列)
- ②製造原価報告書の勘定科目の階層を列で分けて転記
- (※) e-TAXグループ通算で読み込む際、勘定科目を国税庁指定の e-Tax 科目に対応付け(紐付け)します。勘定科目に階層があるとより簡易に対応付け(紐付け)できます。
- (2) 勘定科目の階層を設定しない場合

作業は不要です。

※ e - TAXグループ通算での読み込み時に、項番の列を読み込まないように設定します。 そのため、貸借対照表とは異なり、項番の記載の削除は不要です。

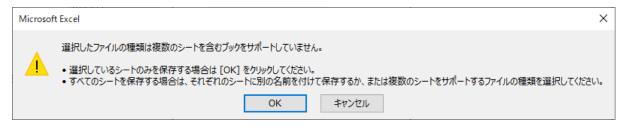
5. CSVファイルの作成

- (1) 製造原価報告書の「Sheet5」シートが表示されている状態で、メニューバー[ファイル]を選択します。
- (2) 「名前を付けて保存」を選択後、判別しやすいファイル名を入力し、「CSV(コンマ区切り)(*.csv)」 を選択後、「保存」ボタンをクリックします。



(3) 下記のメッセージが表示されます。

「OK」をクリックします。



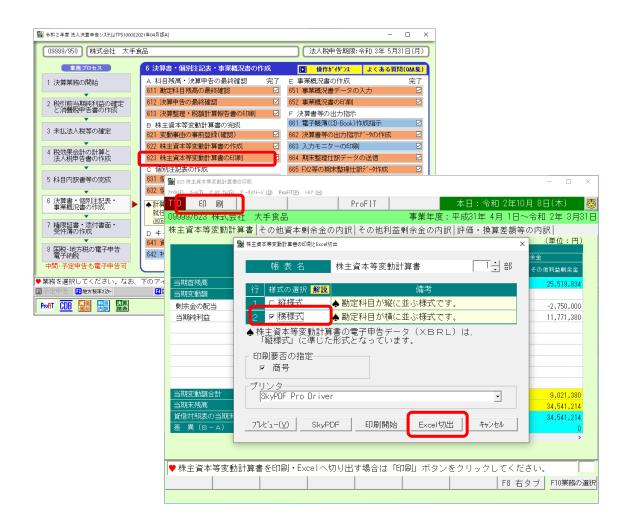
(4) CSVファイルを閉じます。

Ⅳ 株主(社員)資本等変動計算書のCSV作成

1. TPS1000でExcel切り出し

TPS1000 のメニュー「623 株主資本等変動計算書の印刷」で株主(社員)資本等変動計算書を Excel 切り出しします。

- (1) TPS1000 のメニュー「623 株主資本等変動計算書の印刷」をクリックします。
- (2) 「623 株主資本等変動計算書の印刷」画面で、画面左上の[印刷] ボタンをクリックします。
- (3) 「株主資本等変動計算書の印刷と Excel 切出」画面が表示されます。
 - 必ず、「横形式」のみを選択して、[Excel 切出] ボタンをクリックします。
 - (※) e TAX グループ通算では、横形式の株主(社員)資本等変動計算書のみ読み込めます。 縦形式は読み込めません。



2. セル結合の解除

- (1) 編集作業を簡易に行えるよう、結合されているセル結合を解除します。 セル結合を解除する具体的な項目は、下記のとおりです。
 - ①株主(社員)資本等変動計算書(上段の表)の「表示区分」
 - ②その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書(下段の表)の「表示区分」
 - (例) 株主(社員)資本等変動計算書(上段の表)の「表示区分」のセル結合の解除

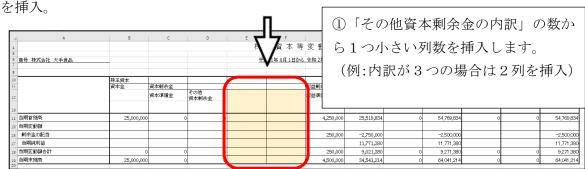


同様に、その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書(下段の表)の「表示区分」について、 範囲指定してセル結合を解除します。

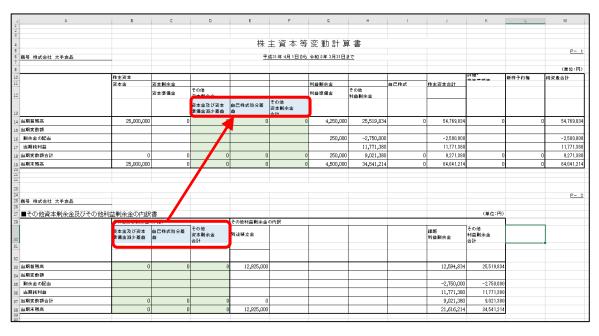
1	Α Α	В	С	D	E	F	G	н	1	J	K
2											
4				株	主資本等	変動計算	書				
5							_				P- 1
7	商号 株式会社 大手食品			125	党31年 4月 1日から	令和 2年 3月31日	22				
8											(単位:円)
10		株主資本	Im torto o		military of a		4-14-6		(4) (4) (4) (5) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5	新株予約権	純資産合計
11		資本金	資本剰余金	Z. on (ris	利益剰余金	その他	自己株式	株主資本合計			
12			資本準備金	資本剰余金	利益準備金	利益剰余金					
13											
_	当期首残高	25,000,000	0	0	4,250,000	25,519,834	0	54,769,834	0	0	54,769,834
15	当期変動額										
16	剰余金の配当				250,000	-2,750,000		-2,500,000			-2,500,000
17	当期純利益					11,771,380		11,771,380			11,771,380
18	当期変動額合計	0	0	0	250,000	9,021,380	0	9,271,380	0	0	9,271,380
19	当期末残高	25,000,000	0	0	4,500,000	34,541,214	0	64,041,214	0	0	64,041,214
20 21 22											
23 24											P- 2
25	商号 株式会社 大手食品										P - 2
26	■その他資本剰余金及びその他利	134 follow A on the	=n.=b.								(単位:円)
29			明余金の内訳				その他利益	前余金の内訳			(単位:円)
30		СОЛЕДАНИ	GALLANDON SAN	7 O //h			(0)(5/13/11/2	GM (MECON THAT			7 (D. (lb
31		資本金及び資本 準備金減少差益	自己株式処分差	その他 資本剰余金	別途積立金					繰越 利益剰余金	その他 利益剰余金
32		华順並微少差益	int	合計						村益剌州壶	合計
_	当期首残高	0	0	0	12,925,000					12,594,834	25,519,834
34	当期変動額										
35	剰余金の配当									-2,750,000	-2,750,000
36	当期純利益									11,771,380	11,771,380
-	当期変動額合計	0	0	0	0					9,021,380	9,021,380
	当期末残高	0	0	0	12,925,000					21,616,214	34,541,214
39											

3. その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書の転記

- (1) その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書(下段の表)を、株主(社員)資本等変動計算書(上段の表)に転記します。
 - (※) e TAXグループ通算は、1つにまとまった株主(社員)資本等変動計算書(上段の表)を 読み込みます。
 - ①その他資本剰余金の内訳の転記
 - 1)株主(社員)資本等変動計算書(上段の表)に「その他資本剰余金の内訳」を転記するための列

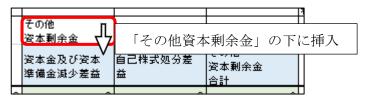


2)株主(社員)資本等変動計算書(上段の表)に「その他資本剰余金の内訳」の「表示区分」を転 記

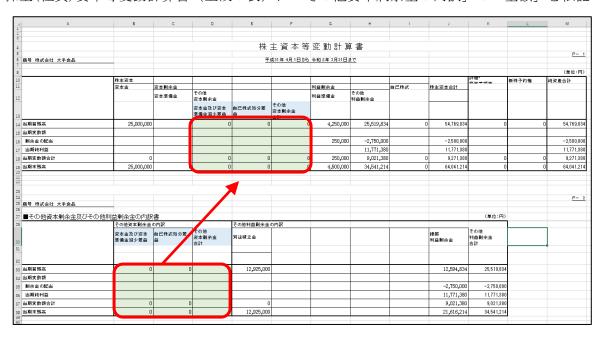


(拡大)

株主(社員)資本等変動計算書(上段の表)へ転記する際は、「その他資本剰余金」の内訳とするため、「その他資本剰余金」の下に転記します。



3)株主(社員)資本等変動計算書(上段の表)に「その他資本剰余金の内訳」の「金額」を転記



②その他利益剰余金の内訳の転記

1)株主(社員)資本等変動計算書(上段の表)に「その他利益剰余金の内訳」を転記するための列を挿入。



2)株主(社員)資本等変動計算書(上段の表)に「その他利益剰余金の内訳」の「表示区分」を転記



(拡大)

株主(社員)資本等変動計算書(上段の表)へ転記する際は、「その他利益剰余金」の内訳とするため、「その他資利益剰余金」の下に転記します。

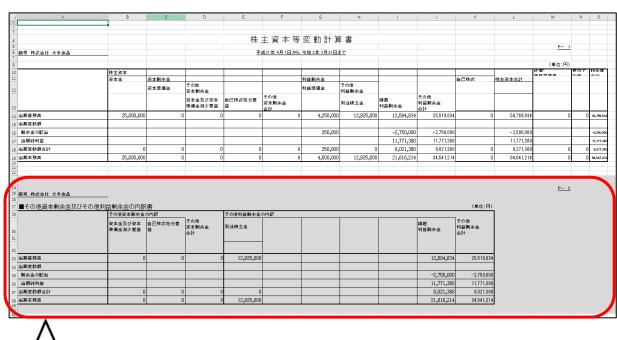


3)株主(社員)資本等変動計算書(上段の表)に「その他利益剰余金の内訳」の「金額」を転記



4. 転記後の「その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書」の削除

転記後の「その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書」を、e-TAXグループ通算で誤って読み込まないよう削除します。





転記後の「その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書」を削除

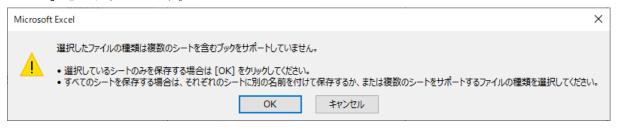
5. CSVファイルの作成

- (1) メニューバー[ファイル]を選択します。
- (2) 「名前を付けて保存」を選択後、判別しやすいファイル名を入力し、「CSV(コンマ区切り)(*.csv)」 を選択後、「保存」ボタンをクリックします。



(3) 下記のメッセージが表示されます。

「OK」をクリックします。



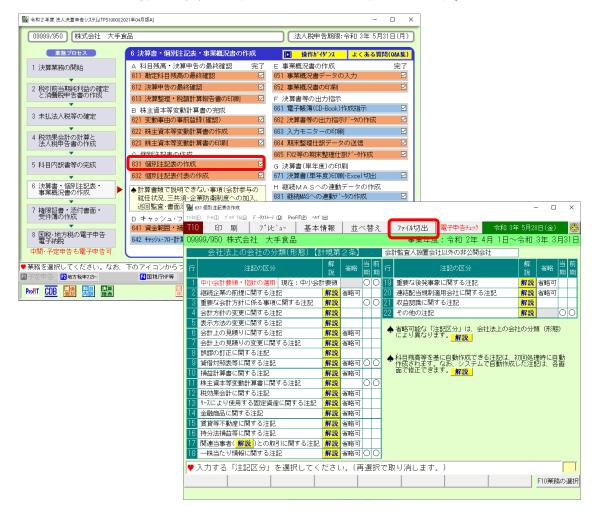
(4) CSVファイルを閉じます。

V 個別注記表のテキスト作成

1. TPS1000でテキスト切り出し

TPS1000 のメニュー「631 個別注記表の作成」で個別注記表をテキスト切り出しします。

- (1) TPS1000 のメニュー「631 個別注記表の作成」をクリックします。
- (2) 「631 個別注記表の作成」画面で、画面上部の「ファイル切出] ボタンをクリックします。
- (※) e-TAXグループ通算では、個別注記表のみテキストで読み込みます。



Ⅵ e-TAXグループ通算での処理:読み込みレイアウトの指定

- 1. 財務諸表の読み込みレイアウトの指定
- (1) 作成した下記の書類について、読み込みレイアウト(勘定科目が○列目、金額が△列目など)を 指定します。また、電子申告時に使用する勘定科目として、勘定科目を国税庁指定の e-Tax 科目に 対応付け(紐付け)します。

(対象書類)

- ①貸借対照表
- ②損益計算書
- ③製造原価報告書
- ④株主(社員)資本等変動計算書
- (※)個別注記表はテキストで読み込んで電子申告するため、事前のレイアウト指定はありません。
- (2) これにより、翌年以降は当該指定した読み込みレイアウト等を利用しますので、財務諸表(決算書)を読み込むだけで電子申告できます。

2. 貸借対照表の読み込みレイアウトの指定



- (1) 読み込みを行う法人(通算親法人又は該当 の子法人)を指定します。
- (2) 「205. 財務諸表の読込レイアウトの指定」 をクリックします。
- ※下記のメッセージが表示された場合は、以下 の順に解除を行った後で、「205. 財務諸表の 読込レイアウトの指定」を行ってください。



<解除するメニュー>

- ①プロセス「9. 国税・地方税の電子申告」
 - 「電子申告データ修正(確定解除)」
- ②プロセス「8. 申告書添付書類の作成」
 - 「添付書類の修正(確定解除)」
- (注)「電子申告データ修正(確定解除)」は、 グループ全体の処理権限を有する ユーザのみ行えます。





(3) 左記の画面が表示されます。

画面上部の「1. 読み込む財務諸表の指定」で「貴社独自レイアウトの財務諸表」を選択します。

- (4) 「貸借対照表」タブが表示されている状態 で[登録] ボタンをクリックします。
- (5) 左記の画面が表示されます。 作成した貸借対照表のCSVを指定します。

■勘定科目の階層を設定している場合

(6) 下記の通り指定します。

①形式 : 勘定式

②科目階層:セル

③資産の部

1)科目: 資産の部の科目の範囲(列の範囲)を指定します。(A)

2)金額: 資産の部の金額の列(1列)を指定します。(B)

3) 読込開始行: 読込を開始する行を指定します。指定行以下の科目、金額を読み込みます。(C)

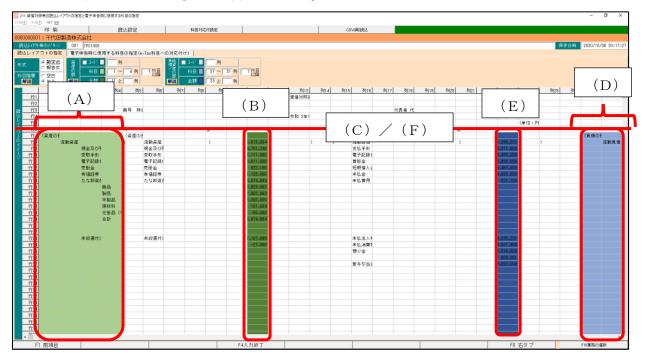
④負債/純資産の部

1)科目: 資産の部の科目の範囲(列の範囲)を指定します。(D)

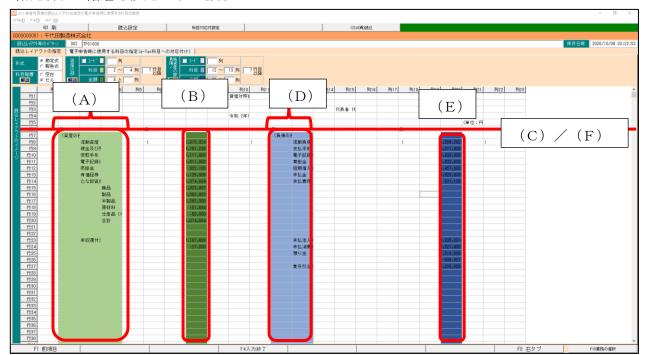
2)金額 : 資産の部の金額の列(1列)を指定します。(E)

3) 読込開始行: 読込を開始する行を指定します。指定行以下の科目、金額を読み込みます。(F)

(※) 詳細は、e-TAXグループ通算の「システム利用マニュアル」(メニューバー[ヘルプ]-[システム利用マニュアル]) をご確認ください。



■勘定科目の階層を設定しない場合



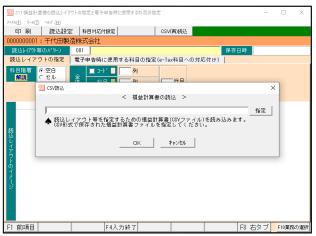


- (7) 「電子申告時に使用する科目の指定」タブを表示します。
- (8) 左記の画面が表示されます。
 e-TAXグループ通算の「システム利用
 マニュアル」(メニューバー[ヘルプ]ー[システム利用マニュアル])をご確認の上、e-Tax
 科目の対応付けを行います。

3. 損益計算書の読み込みレイアウトの指定



(1) 「損益計算書」タブが表示されている状態で「登録」ボタンをクリックします。



(2) 左記の画面が表示されます。 作成した損益計算書のCSVを指定します。

- ■勘定科目の階層を設定している場合
- (3) 下記の通り指定します。

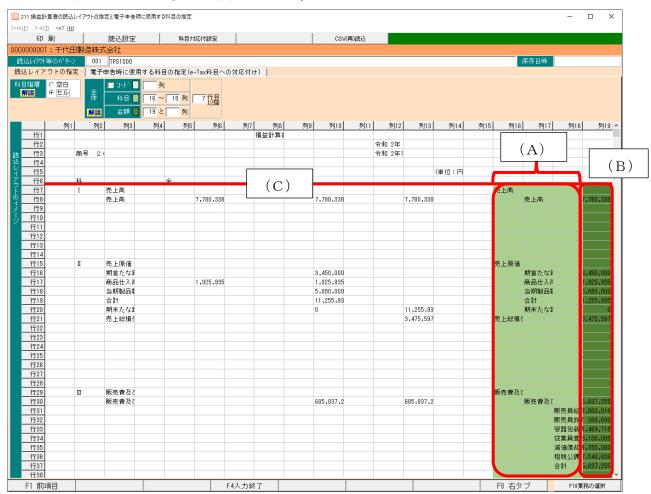
①科目階層 : セル

②科目: 科目の範囲(列の範囲)を指定します。(A)

③金額 : 金額の列(1列)を指定します。(B)

④読込開始行:読込を開始する行を指定します。指定行以下の科目、金額を読み込みます。(C)

(※) 詳細は、e-TAXグループ通算の「システム利用マニュアル」(メニューバー[ヘルプ]-[システム利用マニュアル]) をご確認ください。



- ■勘定科目の階層を設定しない場合
- (3) 下記の通り指定します。

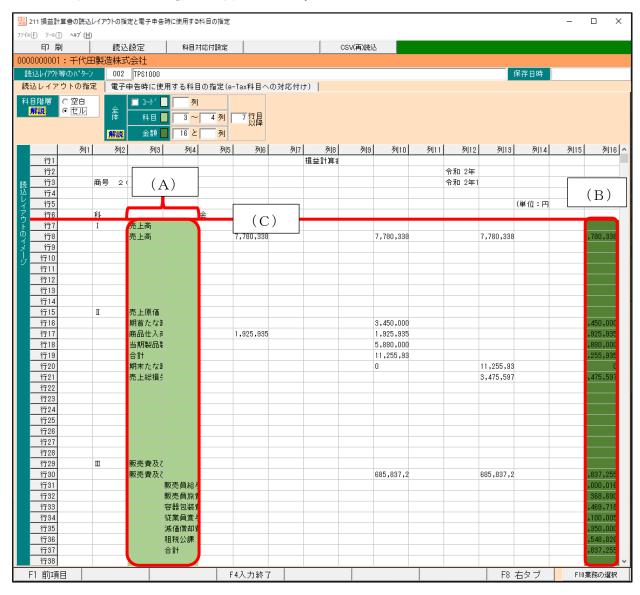
①科目階層 : セル

②科目: 科目の範囲(列の範囲)を指定します。(A)

③金額 : 金額の列(1列)を指定します。(B)

④読込開始行:読込を開始する行を指定します。指定行以下の科目、金額を読み込みます。(C)

(※) 詳細は、e-TAXグループ通算の「システム利用マニュアル」(メニューバー[ヘルプ]-[システム利用マニュアル]) をご確認ください。





- (4) 「電子申告時に使用する科目の指定」タブを表示します。
- (5) 左記の画面が表示されます。

e-TAXグループ通算の「システム利用マニュアル」(メニューバー[ヘルプ]ー[システム利用マニュアル])をご確認の上、e-Tax科目の対応付けを行います。

4. 製造原価報告書の読み込みレイアウトの指定



(1) 「製造原価報告書」タブが表示されている 状態で [登録] ボタンをクリックします。



(2) 左記の画面が表示されます。 作成した製造原価報告書のCSVを指定 します。

- ■勘定科目の階層を設定している場合
- (3) 下記の通り指定します。

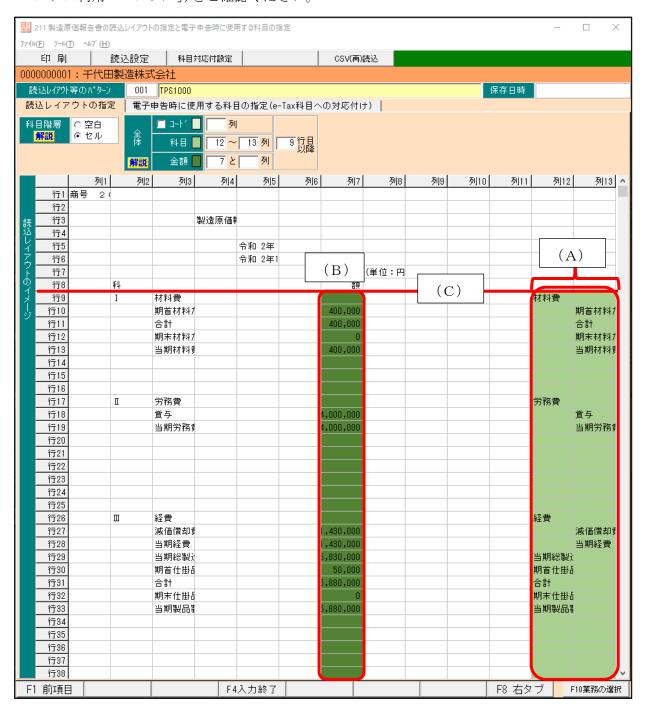
①科目階層 : セル

②科目: 科目の範囲(列の範囲)を指定します。(A)

③金額 : 金額の列(1列)を指定します。(B)

④読込開始行:読込を開始する行を指定します。指定行以下の科目、金額を読み込みます。(C)

(※) 詳細は、e - TAXグループ通算の「システム利用マニュアル」(メニューバー[ヘルプ] - [システム利用マニュアル]) をご確認ください。



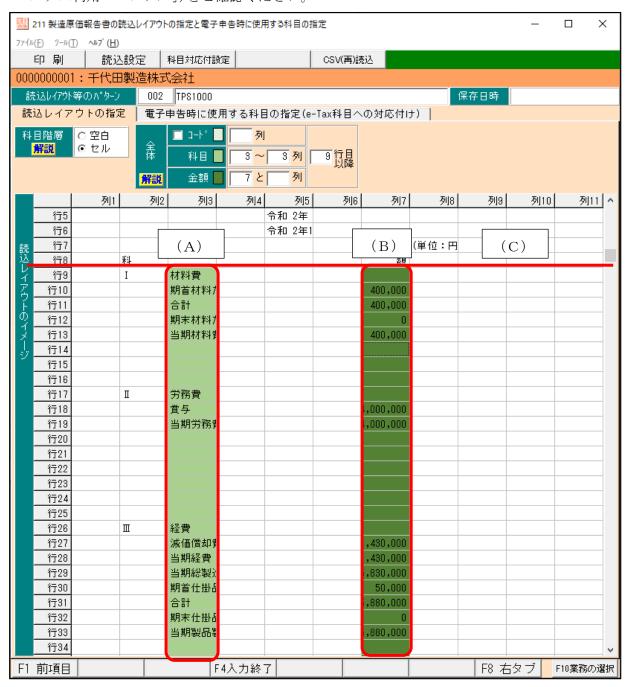
- ■勘定科目の階層を設定しない場合
- (3) 下記の通り指定します。

①科目階層 :空白

②科目 :科目の列(1列)を指定します。(A)③金額 :金額の列(1列)を指定します。(B)

④読込開始行:読込を開始する行を指定します。指定行以下の科目、金額を読み込みます。(C)

(※) 詳細は、e - TAXグループ通算の「システム利用マニュアル」(メニューバー[ヘルプ] - [システム利用マニュアル]) をご確認ください。





- (4)「電子申告時に使用する科目の指定」タブを表示します。
- (5) 左記の画面が表示されます。
 - e-TAXグループ通算の「システム利用マニュアル」(メニューバー[ヘルプ]ー[システム利用マニュアル])をご確認の上、e-Tax科目の対応付けを行います。

5. 株主(社員)資本等変動計算書の読み込みレイアウトの指定



- (1) 「株主資本等変動計算書」タブが表示されている状態で [登録] ボタンをクリックします。
 - ※社員資本等変動計算書の場合は、「社員 資本等変動計算書」タブを表示して[登 録]ボタンをクリックします。



(2) 左記の画面が表示されます。 作成した株主(社員)資本等変動計算書の CSVを指定します。 (3) 下記の通り指定します。

①変動事由等の階層:空白

②表示区分(科目)

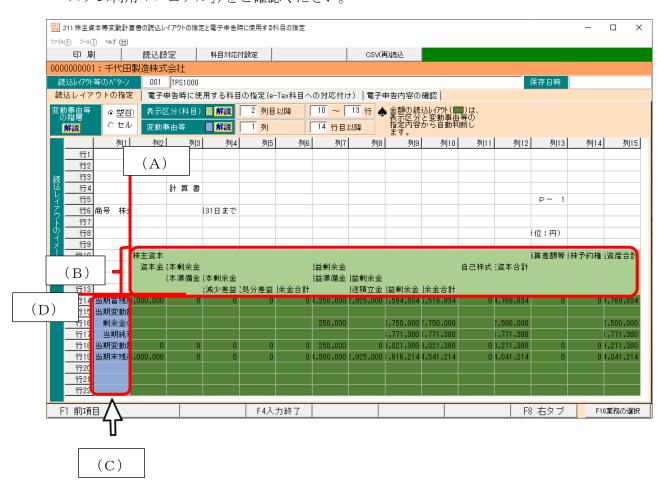
1)読み込み開始列:表示区分(科目)を読み込み開始する列を指定します。(A) 2)読み込み行 :表示区分(科目)を読み込む行の範囲を指定します。(B)

③変動事由等

1) 読み込む列 : 変動事由等を読み込む行 (1つの行) を指定します。(C)

2) 読み込み開始行:変動事由等の読込を開始する行を指定します。 指定行以下の科目、金額を読み込みます。(D)

(※) 詳細は、e - TAXグループ通算の「システム利用マニュアル」(メニューバー[ヘルプ] <math>- [システム利用マニュアル]) をご確認ください。





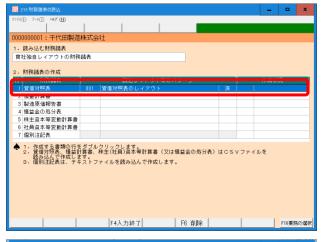
- (4) 「電子申告時に使用する科目の指定」タブを表示します。
- (5) 左記の画面が表示されます。e T A X グループ通算の「システム利用 マニュアル」(メニューバー[ヘルプ]ー[システム利用マニュアル])をご確認の上、e-Tax 科目の対応付けを行います。

WI e-TAXグループ通算での処理:読み込み

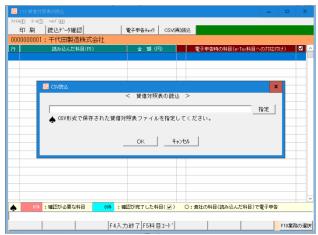
1. 財務諸表の読込



(1) メニュー「801. 財務諸表の読込」をクリックします。



(2) 左記の画面が表示されます。 読み込みを行う財務諸表の行をダブルク リックします。



(3) 左記の画面が表示されます。 作成した財務諸表のCSVを指定します。



(4) 左記の画面が表示されます。

読み込む範囲を確認後、[OK]ボタンをクリックします。



(5) 左記の画面が表示されます。

読み込んだ内容と電子申告時の勘定科目 を確認します。

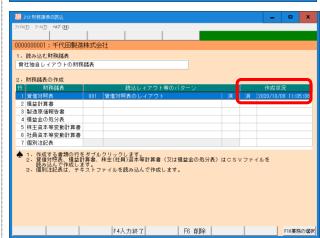
次に、「電子申告チェック」ボタンをク リックして電子申告で利用できない文字を 使用していないかをチェックします。使用 していた場合は、代替文字を登録します。 最後に、「F4 入力終了」ボタンをクリック

最後に、「F4 入力終了」ボタンをクリック します。

(6) 左記の画面が表示されます。 財務諸表のデータの読み込みが完了して

いることを確認します。

- (注)上記(2)から(6)の処理を財務諸表の種類 ごとに繰り返します。
- (※) 詳細は、e-TAXグループ通算の「システム利用マニュアル」(メニューバー[ヘルプ]-[システム利用マニュアル])をご確認ください。



2. その他の申告書添付書類の作成

TPS1000 で作成した財務諸表の読込後、プロセス「8. 申告書添付書類の作成」で、必要に応じて他の申告書添付書類を作成します。

申告書添付書類作成完了後、プロセス「8.申告書添付書類の作成」の「添付書類の作成完了(確定)」ボタンで作成完了(確定)します。

作成完了(確定)後は、確定解除するまで修正できません。

以上